

# 播陽証券 ＝注目・外株銘柄＝ (2026年5月)

## 【米国市場・20銘柄掲載】

### <新規>

- P1【半導体】 ブロードコム(AVGO)
- P2【半導体】 マーベル・テクノロジー(MRVL)
- P3【半導体】 STマイクロエレクトロニクス(STM)
- P4【産業機器】 ロックウェル・オートメーション(ROK)
- P5【運輸】 ユナイテッド・パーセル・サービス(UPS)
- P6【ネットサービス】 エアビーアンドビー(ABNB)

### <継続>

- P7【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
- P8【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
- P9【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
- P10【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
- P11【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P12【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
- P13【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
- P14【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)
- P15【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)
- P16【電子部品】 コヒレント(COHR)
- P17【通信機器】 コーニング(GLW)
- P18【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ(PLTR)
- P19【航空宇宙】 ロケット・ラボ(RKLB)
- P20【航空宇宙】 プラネット・ラプズ(PL)

(株価データ、株価指標は現地2026年4月27日現在)

### <新規>

- 企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手  
M&Aで光通信部品も強化したASIC大手
- テスラ、スペースXを大手顧客に持つ欧州半導体大手
- 産業用制御装置の世界大手、ロボット事業を強化
- 世界最大級の物流・国際宅配網を持つ米国大手
- 民泊仲介大手、ホテル高騰・FIFAワールドカップ関連

### <継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- SNS運営世界最大手
- 米電気自動車(EV)大手
- 米国を代表するDRAM・NANDメモリ大手
- CPUからFPGA・GPUまで多品種を揃える半導体メーカー
- レーザー技術と光通信モジュールを展開する企業
- 特殊ガラス製品メーカー、光ファイバー製造米国最大手
- 防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
- スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専門企業
- 毎日地球全土を撮影する小型衛星企業

### 通信用半導体大手、カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

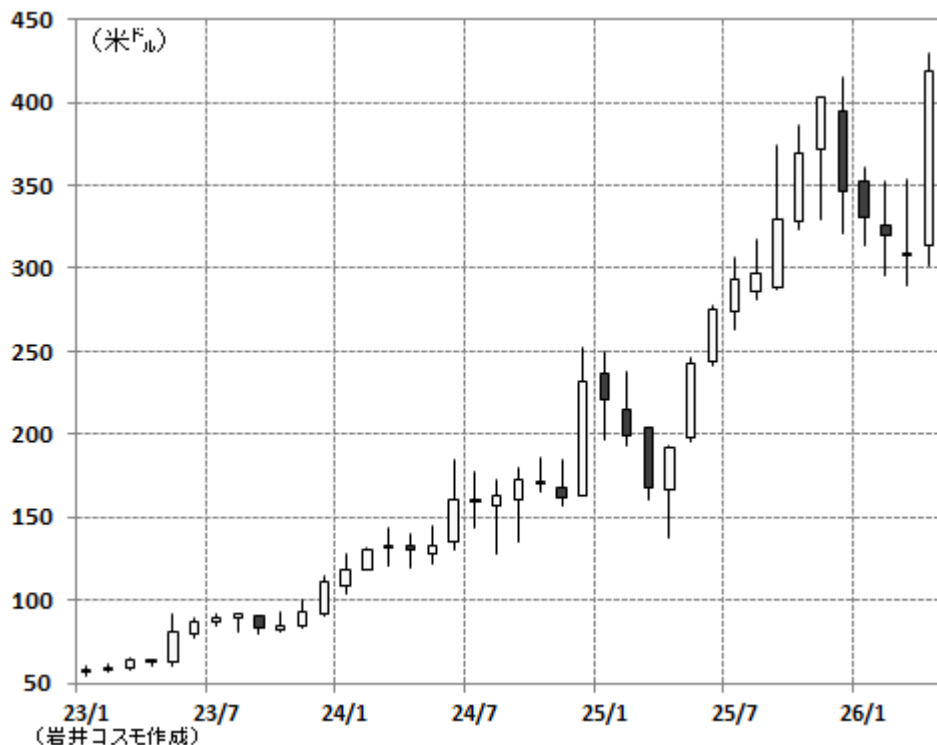
#### 会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

#### 注目ポイント

□**AI用のカスタム半導体の最大手**: 巨大なデータセンターを持つ、アルファベットやメタ等のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路、XPUとも呼称)を提供、同分野のトップ企業として知られ、ASICの設計からインフラ構築まで手掛けている。またAIサーバ同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□**グーグルTPU開発で長期契約**: 前回決算でAI半導体売上高は前年同期比106%増の84億ドルと倍増、第2四半期も107億ドルへ加速する見通し。4月にグーグルのTPU開発で長期契約を2031年までの延長と、急成長のAI新興企業アンソロピック、グーグルとの3社間で数ギガワット規模のTPUインフラを提供する大型契約を発表した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	418.2 ( 04/27 )
52週高値(日付)	429.3 ( 26/04/23 )
52週安値(日付)	184.02 ( 25/04/30 )
時価総額	1兆9,800億ドル 3,15兆6,577億円
株価変化率(%)	12.1 (過去6ヶ月間) 117.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	74.1 (倍)
株価売上高比率	28.9 (倍)
PBR	24.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.62 (直近年率)
配当成長率(%)	11.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.4 (%)
株式ベータ	1.96 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105
2025/10	63,887	24	25,484	89	23,126	292	4.77	2.360

#### 四半期業績

2025/Q1	14,916	—	6,260	—	5,503	—	1.14	0.590
2026/Q1	19,311	29	8,563	37	7,349	2	1.50	0.650

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 通信接続用半導体大手、アマゾンのAI用半導体を手掛ける、M&Aで光通信分野を強化

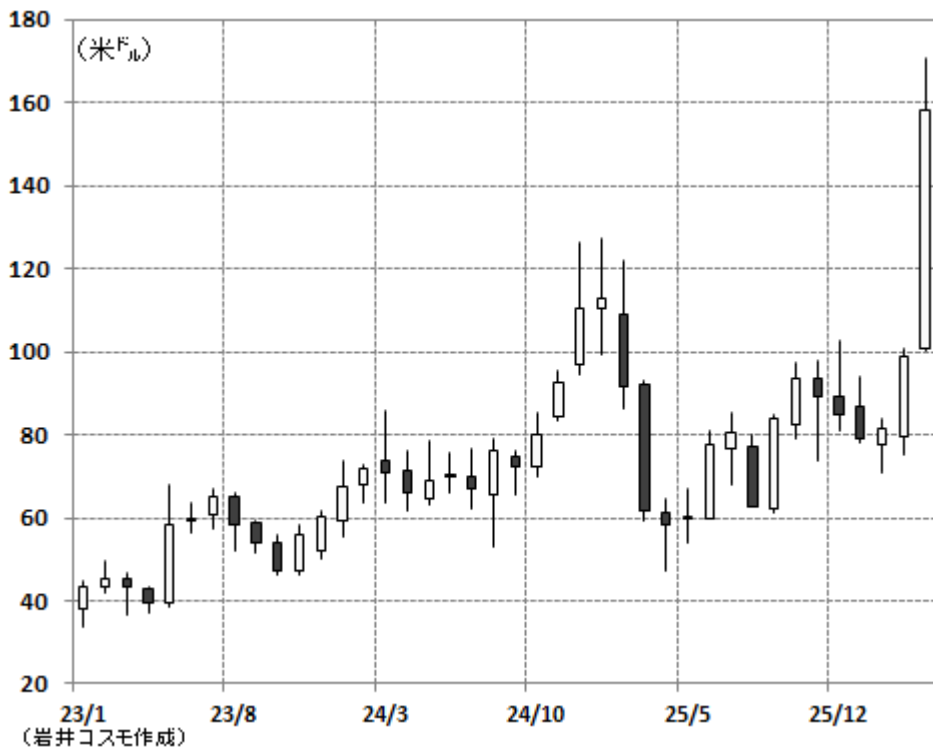
#### 会社概要

1995年創立のファブレス半導体メカで、台湾TSMC等に生産委託。データセンター(DC)や通信インフラ向け半導体を手掛ける。祖業はストレージ分野だが、現在はAI向け通信事業などに完全にシフト。光通信を高速化する製品を豊富に揃え、近年は特定用途向けカスタム半導体(ASIC)の開発を強化。24年にアマゾンAWSと協業拡大するなど、クラウド大手への影響力は年々拡大。本社はカリフォルニア州サンタクララ。

#### 注目ポイント

□**光電融合でリードを目指す**：2月に次世代技術を持つセレスティアルをM&Aし、完全子会社化した。DC内の膨大な通信ボトルネックを解消する光電融合の技術を取り込み、AIインフラ市場での競争優位を画策する。同社技術からの収益貢献は29年度に年率10億ドル規模に倍増すると会社側は予測、将来の牽引役と期待される。

□**エヌビディアから出資**：3月にエヌビディアと提携し、約20億ドルの出資も獲得、次世代AI基盤「NVLink Fusion」での協業を発表した。マーベルの製品群が巨大なエコシステムに深く統合されることで更なる採用拡大も予想される。会社側は対象となるDC向け半導体市場が約940億ドルへ拡大すると推計、収益基盤の強化が予想される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	158.21 ( 04/27 )
52週高値(日付)	170.8 ( 26/04/24 )
52週安値(日付)	53.78 ( 25/05/07 )
時価総額	1,383億ドル 22兆0,515億円
株価変化率(%)	78.8 (過去6ヶ月間) 169.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	117.7 (倍)
株価売上高比率	16.6 (倍)
PBR	9.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.15 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.3 (%)
株式ベータ	1.89 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	26,314	62	-720	赤転	-885	赤転	-1.02	0.24
2026/01	37,095	41	1,323	黒転	2,670	黒転	3.07	0.24

四半期業績							
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益
2025/Q4	1,817	—	235	—	200	—	0.23
2026/Q4	2,219	22	404	72	396	98	0.46

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### テスラ・スペースX(スターリンク)を大手顧客に持つ、欧州最大級の半導体企業

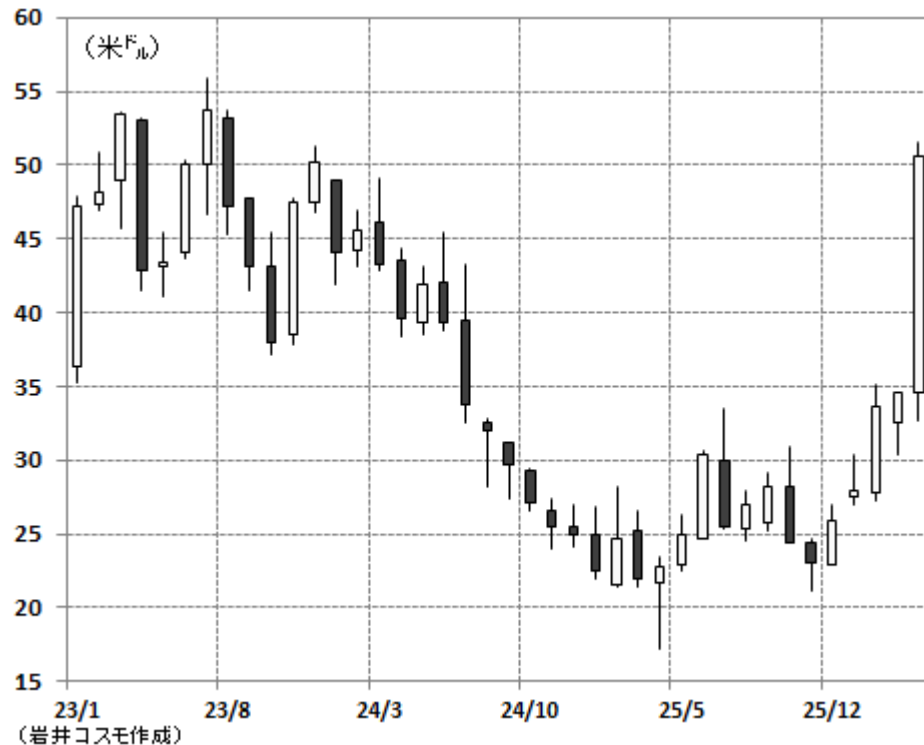
#### 会社概要

1987年創立。スイスに本社を置く欧州半導体の最大手の一角。祖業は幅広いアナログICやマイコンだったが、現在は次世代パワー半導体(SiC)に注力しEV向けなどで業界を牽引。自動車、産業機器向けを豊富に揃えるほか、通信分野での強みも持つ。2025年度は市況悪化の逆風を受けたものの、現在はAIやクラウド関連への展開を急ピッチで進めている。NYSE・ユロネクストに重複上場。

#### 注目ポイント

□**スペースXが大手顧客**：EV大手のテスラやスペースX(スターリンク)を大口顧客に持ち、パワー半導体から衛星通信網まで最先端インフラを支える。24年から業績の重荷となっていた自動車向け過剰在庫一巡の兆しが見え始めており、継続してきたSiC製造への巨額投資が26年以降の本格的な業績回復を牽引する公算が大きい。

□**データセンター(DC)向け売上貢献**：2月にアマゾン(AWS)との戦略的協業拡大を発表。次世代AI・DCを支える高性能コンピュータ向けに半導体製品をAWSへ供給する。最大約2480万株の新株予約権をAWSに発行して関係を深め、従来の中核だった自動車・産業向けにとどまらず、急成長するAI市場に関与して収益成長を図る考え。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	50.56 ( 04/27 )
52週高値(日付)	51.55 ( 26/04/24 )
52週安値(日付)	21.11 ( 25/11/20 )
時価総額	461億ドル 7兆3,452億円
株価変化率(%)	100.6 (過去6ヶ月間) 118.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	320.2 (倍)
株価売上高比率	3.7 (倍)
PBR	2.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.71 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	0.8 (%)
株式ベータ	1.37 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	13,269	-23	1,676	-64	1,557	-63	1.66	0.36
2025/12	11,800	-11	175	-90	166	-89	0.18	0.36
四半期業績								
2025/Q1	2,517	—	3	—	56	—	0.06	0.09
2026/Q1	3,095	23	70	23倍	37	-34	0.04	0.09

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 産業用オートメーションの世界大手、幅広い産業の生産性向上を支援

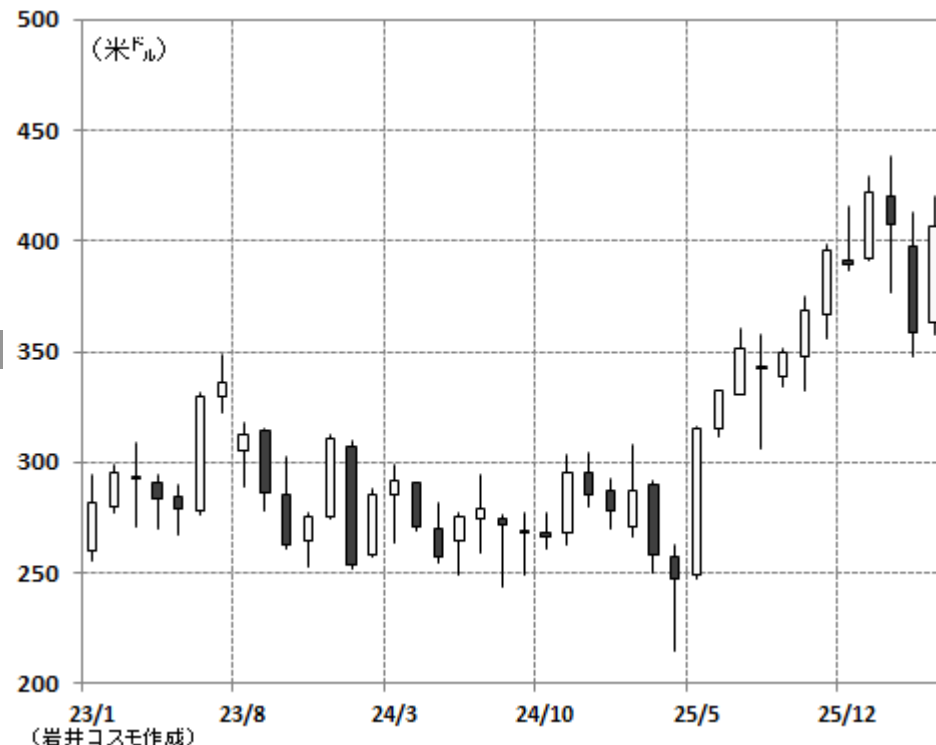
#### 会社概要

1903年創立。前身のアレン・ブラッドレー社が1985年にロックウェル・インターナショナルに買収され、2001年の事業分割を経て現在の純粋な産業オートメーション企業となった。制御システムやソフトウェアを提供し、幅広い産業の生産性向上を支援。近年はハードウェアの提供にとどまらず、データ解析やクラウドを駆使したソフト事業を強化。自動化ラインへのロボット導入や各種システムの統合化に注力し、高付加価値化を推進中。

#### 注目ポイント

□ **自動化需要が奏功**：米国製造業の復活を背景に、省人化や生産回帰(リショアリング)に向けた設備投資需要を的確に捕捉。26年度第1四半期は主力のインテリジェントデバイス部門やソフトウェア部門が牽引し、調整後1株当たり利益は同49%増の2.75ドルと市場予想を上振れて着地。通期の1株利益見通しを上方修正した。

□ **フィジカルAI分野の開発・導入を強化**：現実世界の機械や製造プロセスにAIを適用するフィジカルAIの開発・導入を推進。AIやロボット工学を自社の制御システム群に深く統合する方針を掲げている。工場の自律化や予知保全などを実現し、複雑化するサプライチェーン課題を解決することで、産業向けAI市場での圧倒的なシェア拡大を図る。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	406.92 ( 04/27 )
52週高値(日付)	438.69 ( 26/02/04 )
52週安値(日付)	241.36 ( 25/04/30 )
時価総額	457億ドル 7兆2,888億円
株価変化率(%)	12.4 (過去6ヶ月間) 65.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	31.5 (倍)
株価売上高比率	5.4 (倍)
PBR	12.2 (倍)
税前配当利回り(%)	1.36 (直近年率)
配当成長率(%)	5.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.8 (%)
株式ベータ	1.03 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	8,264	-9	1,100	-32	953	-31	8.28	5.00
2025/09	8,342	1	917	-17	869	-9	7.67	5.24

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q1	1,881	—	213	—	184	—	1.61	1.31
2026/Q1	2,105	12	342	61	305	66	2.69	1.38

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

世界最大級の物流・国際宅配網を持つ米国大手、アマゾン低依存・高収益体質を目指す

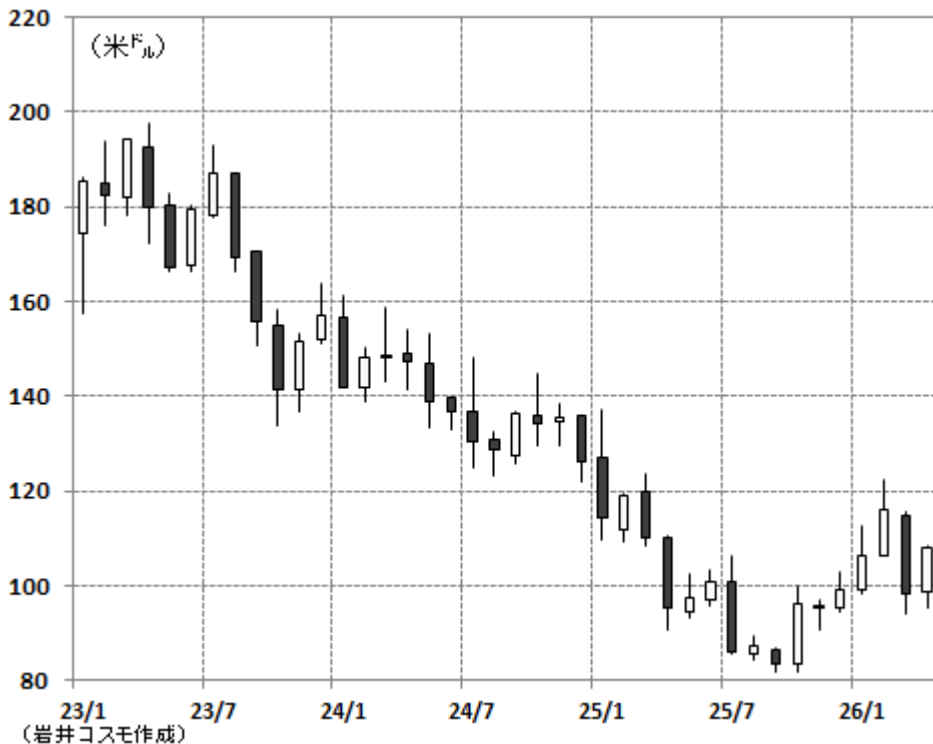
### 会社概要

1907年創立。米国に本社を置く世界最大の小口貨物輸送・ロジスティクス企業。世界220以上の国・地域で事業を展開。近年は利益率の高い中小企業(SMB)向けやB2B、医療・ヘルスケア分野の物流事業を強化。国内部門では最大顧客であるアマゾンへの依存度を意図的に下げる移行期間にあり、取扱量の適正化と収益性の改善を推進中。次世代網構築へ舵を切る。NYダウ輸送株平均・構成銘柄。

### 注目ポイント

□ **AI利用・効率化戦略を推進**：26年末までに年間30億ドルのコスト削減の実行を進めている。25年には200の施設にAI駆動のロボットを導入し手作業を30%削減。国境を越える取引の約90%をAI等でデジタル処理し、徹底的なAI利用・効率化を推進。26年末には米国内取扱量の68%を自動化施設で処理する計画。

□ **配当と構造改革の両立**：アマゾン向け取扱量の削減を進める再編期にあり、26年後半から本格的な業績回復と利益率拡大を見込む。事業再構築の途上にあるが、25年は営業キャッシュフロー85億ドルを創出し、配当と自社株買いを通じて64億ドルを株主還元。成長への投資を継続しつつ、配当と構造改革の両立を図る。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	108.24 ( 04/27 )
52週高値(日付)	122.4 ( 26/02/12 )
52週安値(日付)	82 ( 25/09/11 )
時価総額	920億ドル 14兆6,616億円
株価変化率(%)	12.3 (過去6ヶ月間) 11.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.1 (倍)
株価売上高比率	1.0 (倍)
PBR	5.7 (倍)
税前提当利回り(%)	6.06 (直近年率)
配当成長率(%)	0.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.8 (%)
株式ベータ	0.92 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	91,070	0	8,468	-7	5,782	-14	6.75	6.52
2025/12	88,661	-3	7,867	-7	5,572	-4	6.56	6.56
四半期業績								
2024/Q4	25,301	—	2,926	—	1,721	—	2.01	1.63
2025/Q4	24,479	-3	2,575	-12	1,791	4	2.10	1.64

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 民泊仲介プラットフォーム最大手、拡大する旅行需要を取り込み事業拡大

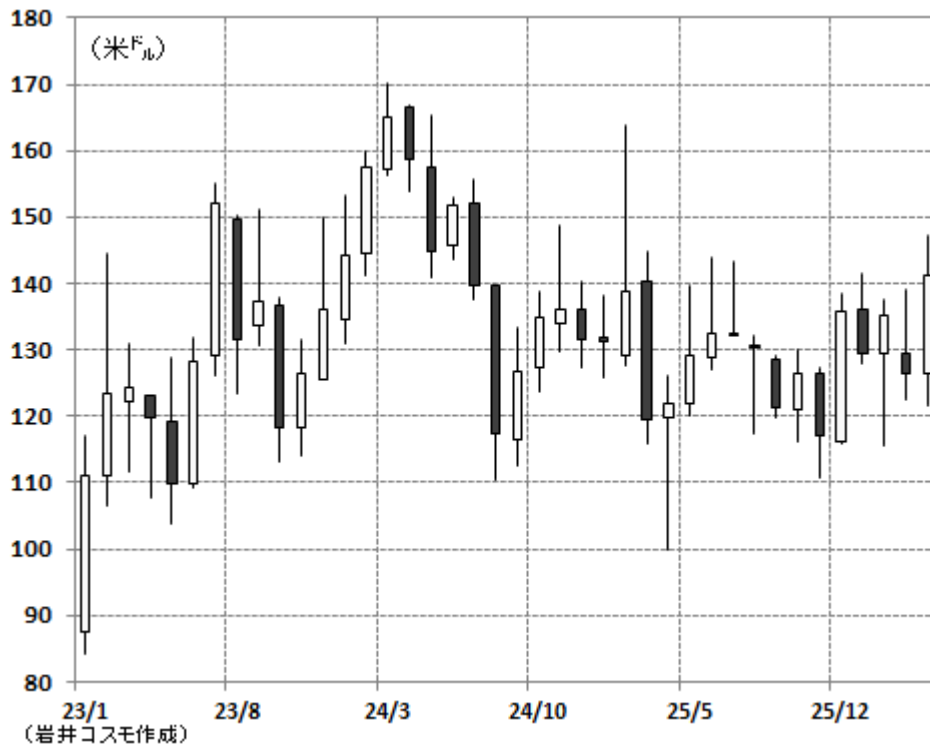
#### 会社概要

旅行情報・予約サイト運営企業。ウェブサイトやモバイルアプリ経由で宿泊やホームステイ及び、旅行サービスを提供する。2007年にブライアン・チェスキ氏とジョー・ケビア氏がサンフランシスコで立ち上げた会社が源流。イギリス発祥の簡易的なホテルをB&B(Bed & Breakfast)と呼び、同社の社名はこのB&Bに由来する。日本には2014年に本格進出。本社はカリフォルニア州サンフランシスコ。

#### 注目ポイント

□「**ホスト**」と「**旅行者**」をマッチング: エアビーは部屋を貸したい人と借りたい人をマッチングさせるプラットフォームを提供、双方から手数料を徴収する。25年10-12月期の総予約額は前年同期比16%増の204億ドルと好調、手数料率は13.6%となった。優良物件「ゲストフェイバリット」が予約の約半数を占めた。26年夏は北米開催のFIFAワールドカップ特需が強力な追い風となり、予約増と業績拡大が見込まれる。

□**旅行以外のマッチングも強化**: 仏パリを中心とした「体験」事業や、米ロサンゼルス等での食料品配達・空港送迎の実証実験(パイロット版)を開始した。現在、体験予約の約半数は宿泊を伴わない利用者によるものであり、新規顧客の開拓に貢献している。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	141.06 ( 04/27 )
52週高値(日付)	147.25 ( 26/04/22 )
52週安値(日付)	110.81 ( 25/11/20 )
時価総額	852億ドル 13兆5,764億円
株価変化率(%)	10.2 (過去6ヶ月間) 14.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.9 (倍)
株価売上高比率	7.1 (倍)
PBR	10.4 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.2 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	11,102	12	2,553	68	2,648	-45	4.11	0.00
2025/12	12,241	10	2,544	-0	2,511	-5	4.03	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2024/Q4	2,480	—	430	—	461	—	0.73	0.00
2025/Q4	2,778	12	269	-37	341	-26	0.56	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握

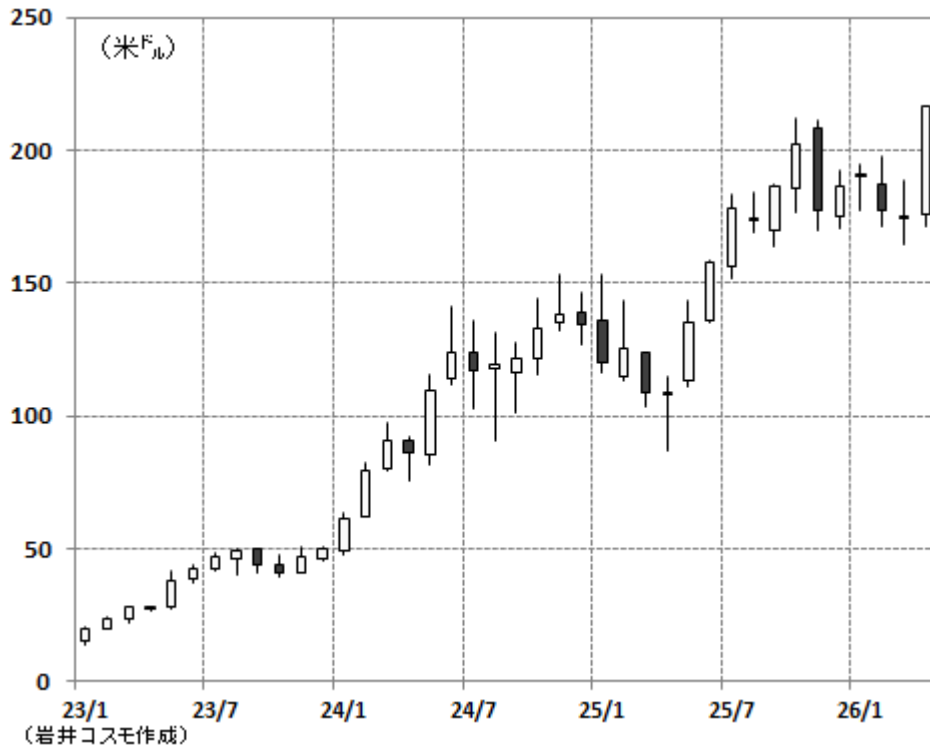
#### 会社概要

1993年設立の米半導体大手。PCゲーム向けの画像処理半導体(GPU)の開発からスタートしたが、現在はデータセンター(DC)向けのAI用半導体で世界市場を高いシェアを有する。ハードウェアだけでなく、AI開発に不可欠なソフトウェア基盤「CUDA」を提供、他社の追随を許さない強力なエコシステムを構築。用途別売上構成は、DC向けが90%、ゲーム向けが7%、プロ視覚化が1.5%、自動車が1.1%、OEM&IPが0.3%(前期)。

#### 注目ポイント

□ **次世代品サンプル出荷開始と新構想**: 「ブラックウェル」の力強い需要が続く中、次世代プラットフォーム「ベラ・ル・ベン」のサンプル出荷を既に開始し、本格量産は年後半の予定。3月16日の技術開発者会議「GTC 2026」では、半導体技術企業グロック社との協業や、独自CPUの単独展開など新たな構想が発表され、競争力の高さを示した。

□ **27年までに売上1兆ドル**: GTCではAIが自律的に動く「エージェントAI」の進化により計算需要が急増中と指摘。25年から27年までの累計売上高で「最低1兆ドル」に達するとの強気な新目標を発表した。従来の26年までに5000億ドル予想を倍増させる規模であり、「ブラックウェル」等への強固な受注残が高度成長を裏付けている。



株価チャート (2023年以降・月足)

#### 株価データ

株価(米ドル)	216.61 ( 04/27 )
52週高値(日付)	216.82 ( 26/04/27 )
52週安値(日付)	104.08 ( 25/04/30 )
時価総額	5兆2,636億 <sup>ドル</sup> 839兆1268億円
株価変化率(%)	7.8 (過去6ヶ月間) 99.2 (過去1年間)

#### 株価指標(バリュエーション)

実績PER	46.9 (倍)
株価売上高比率	24.4 (倍)
PBR	33.5 (倍)
税前提当利回り(%)	0.02 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	0.0 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	101.5 (%)
株式ベータ	1.71 ( 対S&P500 )

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 ( <sup>ドル</sup> )	配当 ( <sup>ドル</sup> )
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
2026/01	215,938	65	130,387	60	120,067	65	4.90	0.040

#### 四半期業績

2025/Q4	39,331	—	24,034	—	22,091	—	0.89	0.010
2026/Q4	68,127	73	44,299	84	42,960	94	1.76	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で高成長続く

#### 会社概要

1975年創立。PC用OS「ウィンドウズ」や業務ソフト「オフィス」で圧倒的シェアを誇る米IT大手。近年はクラウド基盤「アジュール」が急成長し収益の柱。生成AI分野を強力に牽引しており、対話型AIを手掛けるオープンAIの筆頭株主として強固な協業体制を構築。同社の技術を活用したAI機能「コパイロット」を自社製品群に全面展開し、法人・個人双方で高付加価値化を推進中。NYダウ工業株平均構成銘柄。

#### 注目ポイント

□ **クラウド事業拡大続く**：25年10-12月期売上高は前年同期比17%増の813億ドル。中でもアジュールを含むインテリジェント・クラウド部門の売上高は29%増の329億ドルと予想を上回った。アジュール単体の成長率は39%に達した。AIインフラ投資は同66%増の375億ドルと過去最大規模に膨らむが、旺盛なAI需要を収益化する。

□ **オープンAIとの契約見直し**：4月、オープンAIとの提携内容を改定、AIモデルの独占的ライセンス契約を終了した。オープンAIは他社クラウドでの製品提供が可能に。MSIは主要なクラウドパートナーの地位を維持し、2032年まで技術を利用できる非独占的権利を確保。自社からオープンAIへの収益分配の廃止など関係を再構築し、独自性と柔軟性を高める。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	424.82 ( 04/27 )
52週高値(日付)	555 ( 25/07/31 )
52週安値(日付)	356.29 ( 26/03/30 )
時価総額	3兆1,546億ドル 502兆8993億円
株価変化率(%)	-21.6 (過去6ヶ月間) 8.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.3 (倍)
株価売上高比率	10.3 (倍)
PBR	8.1 (倍)
税配前当利回り(%)	0.86 (直近年率)
配当成長率(%)	10.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.4 (%)
株式ベータ	1.06 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	69,632	—	31,653	—	24,108	—	3.23	0.83
2026/Q2	81,273	17	38,275	21	38,458	60	5.16	0.91

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 播陽証券

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

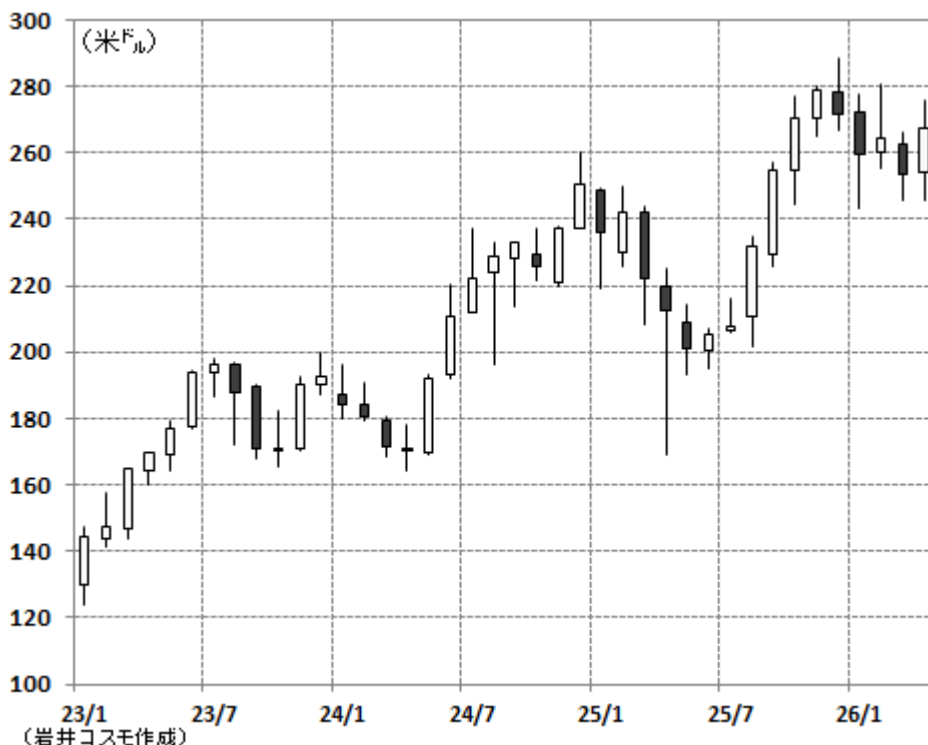
## 会社概要

スマートフォン(スマホ)「アイフォン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

## 注目ポイント

□ **10-12月期は歴史的増収**: 25年10-12月期は前年同期比16%増収、同16%最終増益。9月発売の「アイフォン17」および薄型「アイフォンエア」はAI処理能力が大幅に強化され、旧機種からの記録的な買い替え需要を創出、中華圏売上も38%増と急回復した。

□ **次期CEO発表と次世代AIへの布石**: 4月20日、クックCEOが9月に退任して執行会長に就き、ハードウェア部門トップのターナス氏が次期CEOに就任することが正式発表された。製品中心の原点回帰も予想される新体制への移行が決定する中、6月開幕のWWDCでは次期OS「iOS 20」が披露される見通し。音声助手「Siri」の本格的なチャットボット化など、新CEOが引き継ぐ生成AI戦略の全貌に関心が高まる。



株価チャート (2023年以降・月足)

## 株価データ

株価(米ドル)	267.61 ( 04/27 )
52週高値(日付)	288.6 ( 25/12/03 )
52週安値(日付)	193.25 ( 25/05/07 )
時価総額	3兆9,288億 <sup>ドル</sup> 626兆3325億円
株価変化率(%)	-0.5 (過去6ヶ月間) 27.3 (過去1年間)

## 株価指標(バリュエーション)

実績PER	33.8 (倍)
株価売上高比率	9.1 (倍)
PBR	44.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.39 (直近年率)
配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	152.0 (%)
株式ベータ	1.06 (対S&P500)

## 通期業績

決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 ( <sup>ドル</sup> )	配当 ( <sup>ドル</sup> )
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02

## 四半期業績

2025/Q1	124,300	—	42,832	—	36,330	—	2.40	0.25
2026/Q1	143,756	16	50,852	19	42,097	16	2.84	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

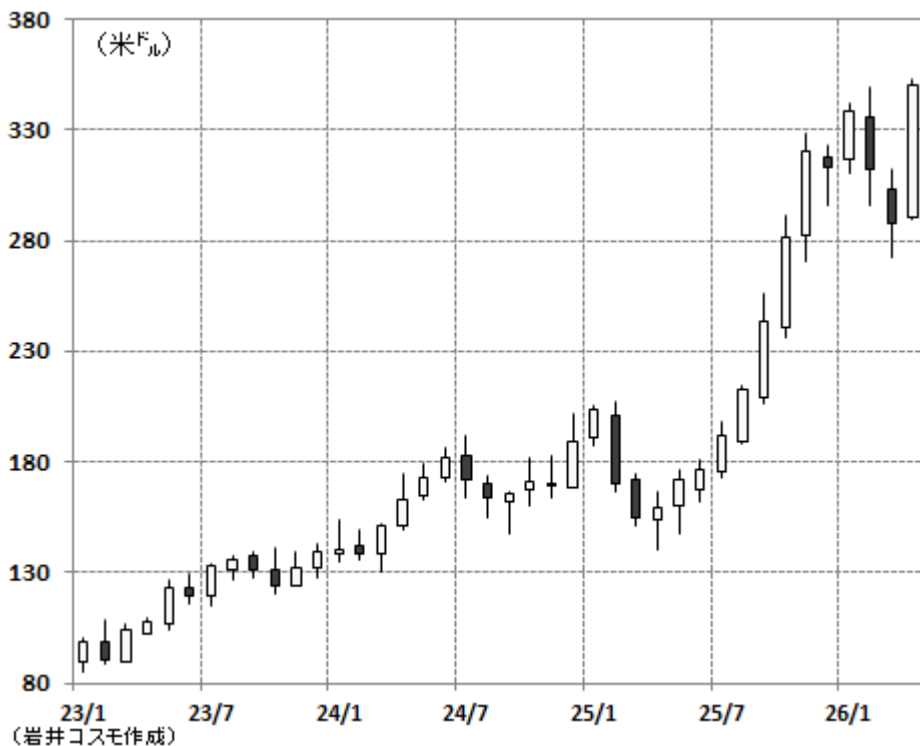
#### 会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,820人(25年12月末)。

#### 注目ポイント

□**アンソロピック追加出資**：25年10-12月期決算は1株利益が2.82ドルと予想を上回り、AI需要を取り込んだクラウド部門が業績を牽引。26年1月には推論能力を飛躍させた最新AI「Gemini 3.5」を展開し収益化が本格化。26年4月には最大400億ドルのアンソロピック追加出資が報じられた。提携網を拡大し、AI覇権とクラウド市場での市場獲得を狙う。

□**「ウェイモ」の日本進出とインフラ投資**：自動運転部門ウェイモは、初の海外進出先として東京やロンドンを選定。25年4月から東京都心で実証走行を開始、26年の本格稼働を目指す。他方、膨大なAI開発の電力確保に向け、再エネ大手「インターセクトパワー」の権益取得を推進。AIインフラの安定稼働と低炭素化の両立を図る考え。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	350.34 ( 04/27 )
52週高値(日付)	353.18 ( 26/04/27 )
52週安値(日付)	147.84 ( 25/05/07 )
時価総額	4兆2,340億ドル 674兆9766億円
株価変化率(%)	31.0 (過去6ヶ月間) 118.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	38.0 (倍)
株価売上高比率	10.5 (倍)
PBR	10.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.24 (直近年率)
配当成長率(%)	5.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.7 (%)
株式ベータ	1.10 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	350,018	14	112,390	33	100,118	36	8.04	0.60
2025/12	402,836	15	129,039	15	132,170	32	10.81	0.83

#### 四半期業績

2024/Q4	96,469	—	30,972	—	26,536	—	2.15	0.20
2025/Q4	113,828	18	35,934	16	34,455	30	2.82	0.21

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

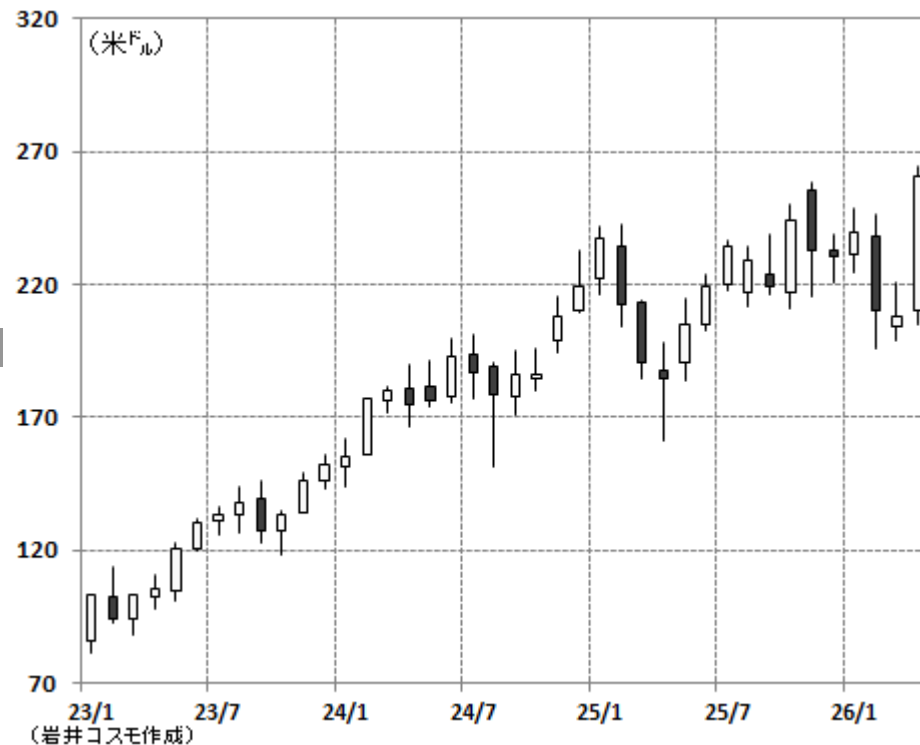
#### 会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

#### 注目ポイント

**□ AWSが成長再加速:** 10-12月期の主力のAWS(クラウド)部門は前年同期比24%増収と過去13四半期で最大の伸びを記録、年換算売上高は1,420億ドルに到達した。AI需要の爆発により受注残高は前年比40%増の2,440億ドルへ急増。また25年の広告事業は前期比22%増(686億ドル)と高成長を維持する。一方、AIインフラ拡充のため、26年設備投資額を同約5割増の2,000億ドルと巨額となる。

**□ AIによる組織変革と収益性:** 26年1月、組織のフラット化と自動化を目的とした「プロジェクト・D」の下、世界で約1.6万人の追加人員削減を実施。AIチャットボット「ルーフアス」や、物流ロボティクスの進化等を通じて固定費抑制と顧客体験の向上を同時達成を目指す。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	261.12 ( 04/27 )
52週高値(日付)	264.37 ( 26/04/24 )
52週安値(日付)	178.85 ( 25/04/30 )
時価総額	2兆8,074億ドル 447兆5498億円
株価変化率(%)	13.9 (過去6ヶ月間) 39.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	37.4 (倍)
株価売上高比率	3.9 (倍)
PBR	6.8 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.3 (%)
株式ベータ	1.31 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
2025/12	716,924	12	79,975	17	77,670	31	7.17	0.00

#### 四半期業績

2024/Q4	187,792	—	21,203	—	20,004	—	1.86	0.00
2025/Q4	213,386	14	24,977	18	21,192	6	1.95	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 日々35億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

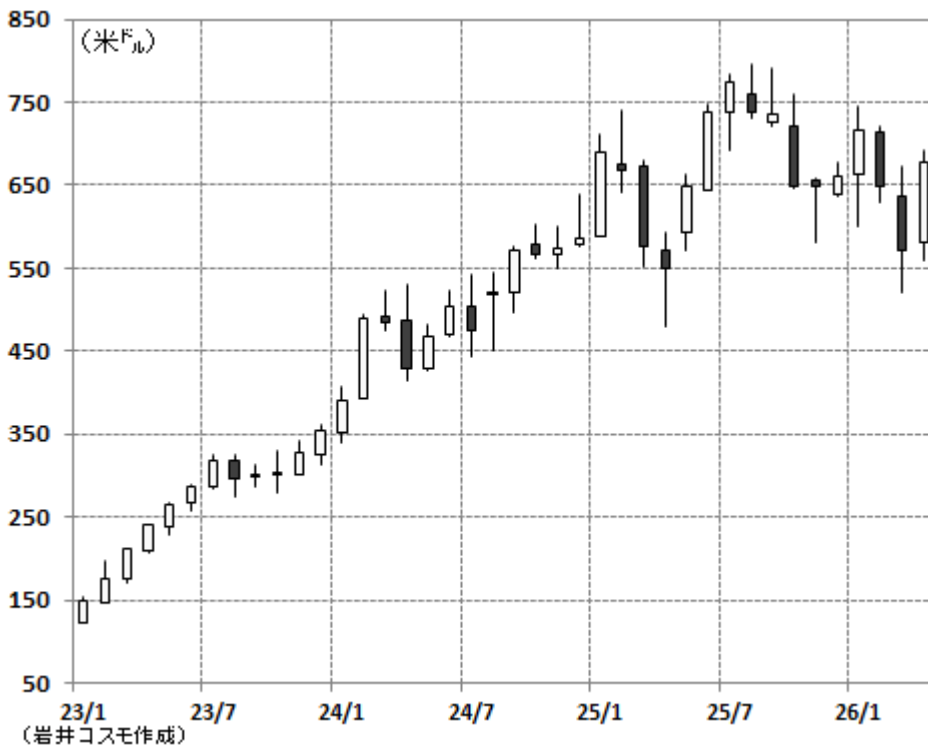
#### 会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(Instagram等も含む)は全世界で35.8億人(25年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は78,865人(25年12月末時点)。

#### 注目ポイント

□ **AI投資優先で人員削減実施へ**：25年10-12月期は売上高が前年同期比24%増の598.9億ドルと主力広告事業が業績を牽引。一方、26年の設備投資は最大1350億ドル規模へ増額方針を提示。5月下旬に全従業員の約10%に及ぶ大規模な人員削減実施へと踏み切る方針が社内通知で報じられ、事業体制の急旋回が明るみに。

□ **SNS依存症裁判の敗訴**：26年3月、SNSが若者の依存症や精神的被害を引き起こしたとする米国の画期的な訴訟で敗訴し、約600万ドルの損害賠償支払いを命じられた。全米で同種の大規模訴訟が約3000件係争中とされ、訴訟波及による規制強化やブランド価値低下を招く潜在リスクとして市場の警戒感が強まっている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	678.62 ( 04/27 )
52週高値(日付)	796.21 ( 25/08/15 )
52週安値(日付)	520.26 ( 26/03/27 )
時価総額	1兆7,226億ドル 274兆6208億円
株価変化率(%)	-9.7 (過去6ヶ月間) 23.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	23.2 (倍)
株価売上高比率	8.5 (倍)
PBR	7.9 (倍)
税配前当利回り(%)	0.31 (直近年率)
配当成長率(%)	3.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.2 (%)
株式ベータ	1.33 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00
2025/12	200,966	22	83,276	20	60,458	-3	23.49	2.08

#### 四半期業績

2024/Q4	48,385	—	23,365	—	20,838	—	8.02	0.50
2025/Q4	59,893	24	24,745	6	22,768	9	8.88	0.52

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

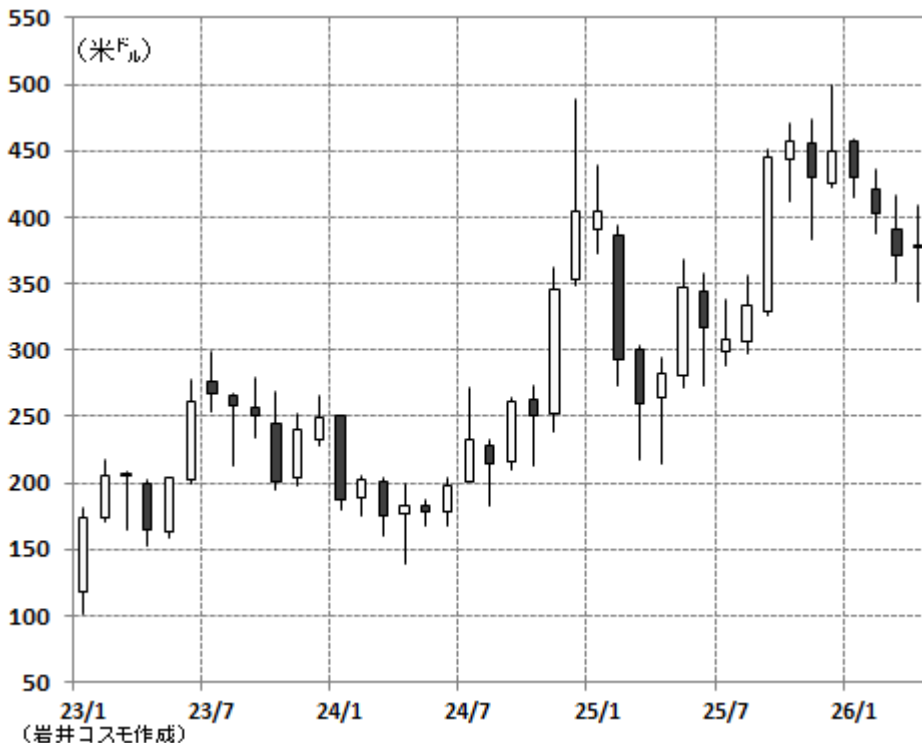
#### 会社概要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能でEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。25年のEV納車台数は前期比9%減の163.6万台。CEOのイーロン・マスク氏は米政財界で大きな影響力を持ち、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカスマ経営者として知られる。S&P500種構成銘柄。

#### 注目ポイント

**□本業EVの回復と自動運転の成長:** 1-3月期決算は売上高が前年同期比16%増の223.9億ドル、調整後1株利益は0.41ドルと市場予想を上振れた。納車台数は同6%増の約35.8万台で、需要持ち直しにより第1四半期として過去2年で最高の受注残を記録し本業EVに回復の兆しが見られた。定額課金へ移行した自動運転の有料顧客が約130万人に達し、フリーキャッシュフローは約14.4億ドルの大幅黒字を確保した。

**□設備投資増額:** 今期投資計画を250億ドル超へ増額修正した。3月にスペースXと共に半導体工場計画を発表、研究用工場を新設する。ロボタクシーは米各地で無人運転を開始し、27年の本格収益化を見込む他、人型ロボットも来年の量産に向け年産100万台体制の整備を進める。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	378.67 ( 04/27 )
52週高値(日付)	498.82 ( 25/12/22 )
52週安値(日付)	270.79 ( 25/04/30 )
時価総額	1兆4,222億ドル 226兆7239億円
株価変化率(%)	-17.8 (過去6ヶ月間) 32.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	311.6 (倍)
株価売上高比率	12.5 (倍)
PBR	16.9 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.9 (%)
株式ベータ	1.51 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
2025/12	94,827	-3	4,355	-38	3,794	-46	1.08	0.00
四半期業績								
2025/Q1	19,335	—	399	—	409	—	0.12	0.00
2026/Q1	22,387	16	941	136	477	17	0.13	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 米半導体メモリ大手、AI向けのHBM特需と汎用品価格急騰の二重の追い風

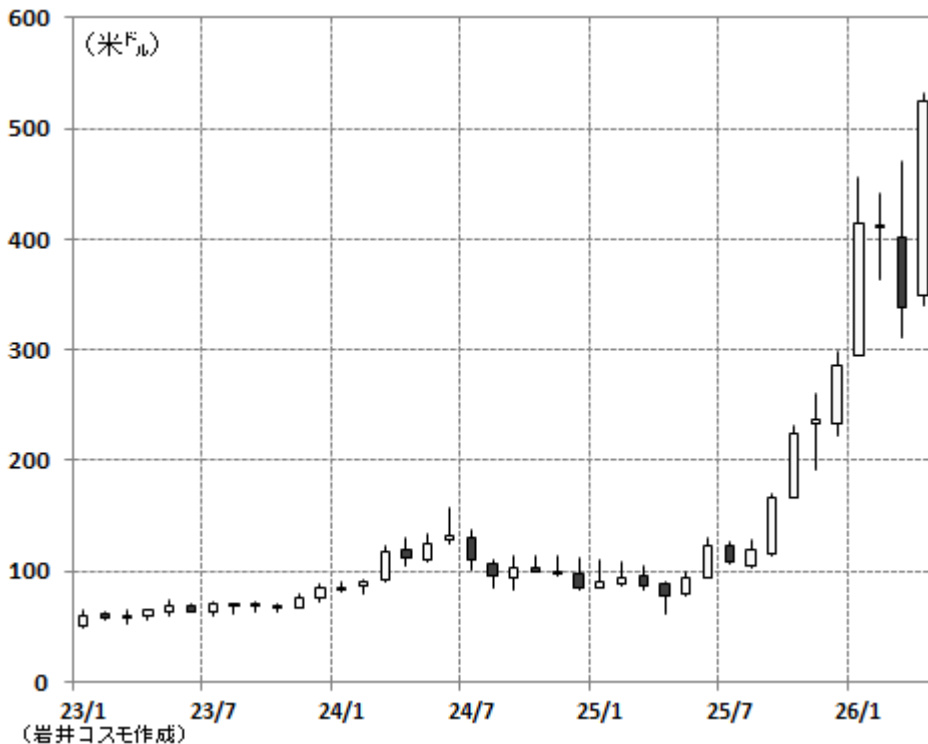
#### 会社概要

1978年設立の米半導体大手。DRAMやNAND型フラッシュメモリなど記憶媒体の設計・製造を手掛ける。サムスン電子、SKハイニックスと共に世界のメモリ市場を寡占。スマホやPC向けに加え、近年はデータセンターや車載向けを強化。特に生成AIサーバに不可欠な広帯域メモリ(HBM)の開発に注力し、エヌビディアの最新GPUにも採用されている。製品別売上構成(25年度)はDRAMが76%、NANDフラッシュ23%。

#### 注目ポイント

□ **AI特需でHBMが27年分まで販売先確保**: 生成AIに必要な広帯域メモリ(HBM)の需要が急増し、同社の27年のHBM生産分まで長期契約で大部分の販売先が決定済み。最新のHBM3Eや次世代HBM4の拡販で強力な価格交渉力を獲得。メモリ業界特有の好不況のサイクルを脱却、AI需要主導の高収益ビジネスへと変貌を遂げつつある。

□ **歴史的決算と利益率の劇的改善**: 12-2月期実績は、売上高が239億ドル、調整後1株利益が12.20ドルと市場予想を大幅に上回る歴史的業績となった。高付加価値なAI向け製品へのシフトが奏功、粗利益率は約75%へ急上昇。続く3-5月期売上高見通しも328-343億ドルと極めて強気で、配当増額など株主還元も評価されている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	524.56 ( 04/27 )
52週高値(日付)	531.36 ( 26/04/27 )
52週安値(日付)	73.5 ( 25/04/30 )
時価総額	5,916億ドル 94兆3,072億円
株価変化率(%)	136.4 (過去6ヶ月間) 567.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	24.6 (倍)
株価売上高比率	10.1 (倍)
PBR	8.2 (倍)
税前提当利回り(%)	0.11 (直近年率)
配当成長率(%)	7.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.8 (%)
株式ベータ	1.96 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/08	25,111	62	1,304	黒転	778	黒転	0.70	0.460
2025/08	37,378	49	9,770	7.5倍	8,539	11倍	7.59	0.460
四半期業績								
2025/Q2	8,053	—	1,773	—	1,583	—	1.41	0.115
2026/Q2	23,860	3.0倍	16,135	9.1倍	13,785	8.7倍	12.07	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

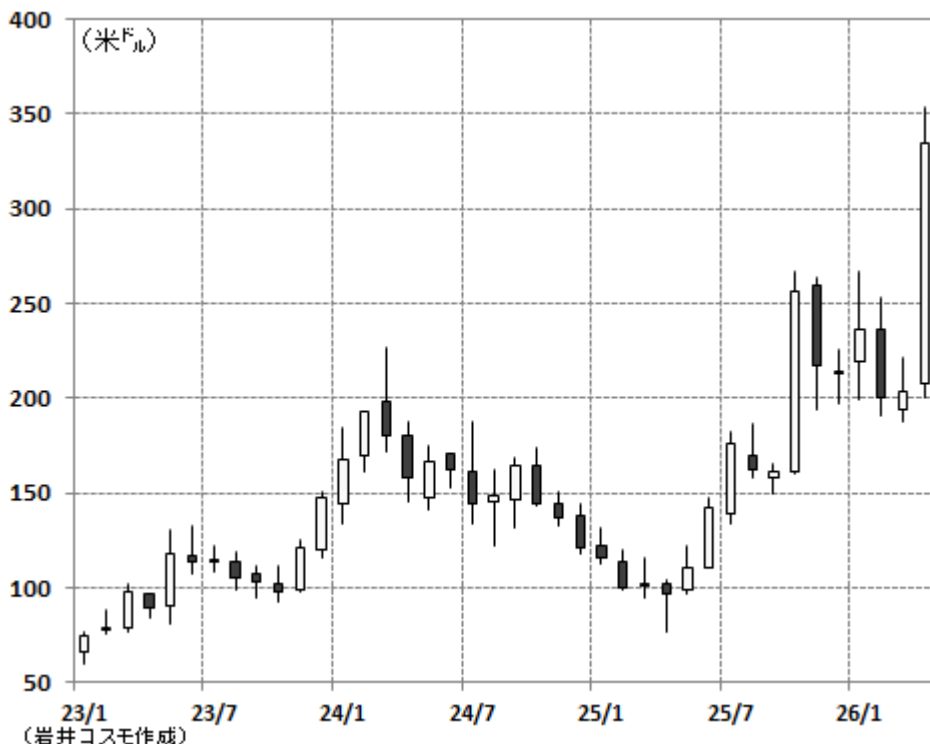
#### 会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。自社で工場を持たないファブレス型の米半導体大手。PC向けCPU「Ryzen」やサーバ向けCPU「EPYC」、AI向けGPU「Instinct」を展開。22年にザイリンクスを買収しFPGA分野にも参入。年初のCES 2026では次世代GPUとCPUを統合したAI基盤「Helios」を発表する等、チップ単体からAIシステム全体を提供する企業へと進化。CPUでインテル、GPUでエヌビディアと激しいシェア争いを展開。

#### 注目ポイント

□ **巨大ITと大型契約**: エヌビディア一強への過度な依存や価格支配を嫌う巨大IT企業が、同社AIアクセラレータの採用を拡大。26年2月にメタから1000億ドル規模の大口受注があったと報じられた。他の巨大クラウドベンダーからの大型契約受注の可能性もある。AI推論分野での高コストを武器にAI GPU市場でのシェア獲得が期待される。

□ **AIエージェント普及でCPU需要拡大**: 26年第1四半期のガイダンスでは対中輸出規制に伴う売上減が足かせとなったが、高収益なDC部門の伸びにより全社の粗利益率は改善傾向が続く。PC市場では、端末上で自律的に動く「AI PC」の本格展開が追い風となり、AIエージェント普及でCPU需要拡大が見込まれ、本格的な利益成長加速に期待。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	334.63 ( 04/27 )
52週高値(日付)	352.99 ( 26/04/24 )
52週安値(日付)	91.87 ( 25/04/30 )
時価総額	5,456億ドル 86兆9,732億円
株価変化率(%)	29.7 (過去6ヶ月間) 247.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	131.6 (倍)
株価売上高比率	15.7 (倍)
PBR	8.7 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	7.2 (%)
株式ベータ	1.57 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	25,785	14	1,900	374	1,641	92	1.00	0.00
2025/12	34,639	34	3,694	94	4,335	164	2.65	0.00
四半期業績								
2024/Q4	7,658	—	871	—	482	—	0.29	0.00
2025/Q4	10,270	34	1,752	101	1,511	213	0.92	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## 光通信部品の米国大手、AIデータセンター向けの需要が急増

### 会社概要

1971年設立のツシックス(II-VI)が、22年に旧コヒレントを買収して現社名に変更。光通信部品、レーザー機器、最先端材料を手掛ける世界的な大手。データセンター(DC)向けの超高速光トランシーバや、電気自動車(EV)向けの次世代半導体材料である炭化ケイ素(SiC)ウエハ等で業界を牽引。素材からモジュールまで自社で一貫製造する垂直統合型のビジネスモデルを強みとし、AIインフラから産業用まで幅広い市場に展開。

### 注目ポイント

- AI特需で光通信部門が急成長:** 生成AIの普及に伴うDCの帯域幅拡大需要を背景に、主力の800Gや次世代1.6T超高速光トランシーバの販売が急増。10-12月決算では、売上が前年同期比約17%増の16.8億ドルとなり、DC通信部門に限れば同34%増の高成長。AI投資の恩恵を受け、全社の利益率を押し上げに貢献した。
- 日系提携とAI転用でSiC事業を強靱化:** EV減速による逆風下でも、テッソや三菱電機からの10億ドルの出資と長期契約により、投資リスクを抑えつつ次世代ウエハの量産体制を堅持。またSiC技術を電力消費が激しい「AIデータセンターの熱・電力管理」へ応用・拡大する方針を発表。AIインフラ向けの新たな成長軸を加え事業強化を推進する。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	321.53 ( 04/27 )
52週高値(日付)	364.73 ( 26/04/22 )
52週安値(日付)	61.19 ( 25/04/30 )
時価総額	603億ドル 9兆6,100億円
株価変化率(%)	139.5 (過去6ヶ月間) 396.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	176.1 (倍)
株価売上高比率	8.1 (倍)
PBR	7.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	2.8 (%)
株式ベータ	2.13 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	4,708	-9	-148	赤継	-280	赤継	-1.84	0.00
2025/06	5,810	23	94	黒転	-81	赤継	-0.52	0.00
四半期業績								
2025/Q2	1,435	—	128	—	71	—	0.44	0.00
2026/Q2	1,686	17	168	31	145	104	0.76	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## 特殊ガラス製品メーカー、AIインフラとして需要が急増する光ファイバーで復権中

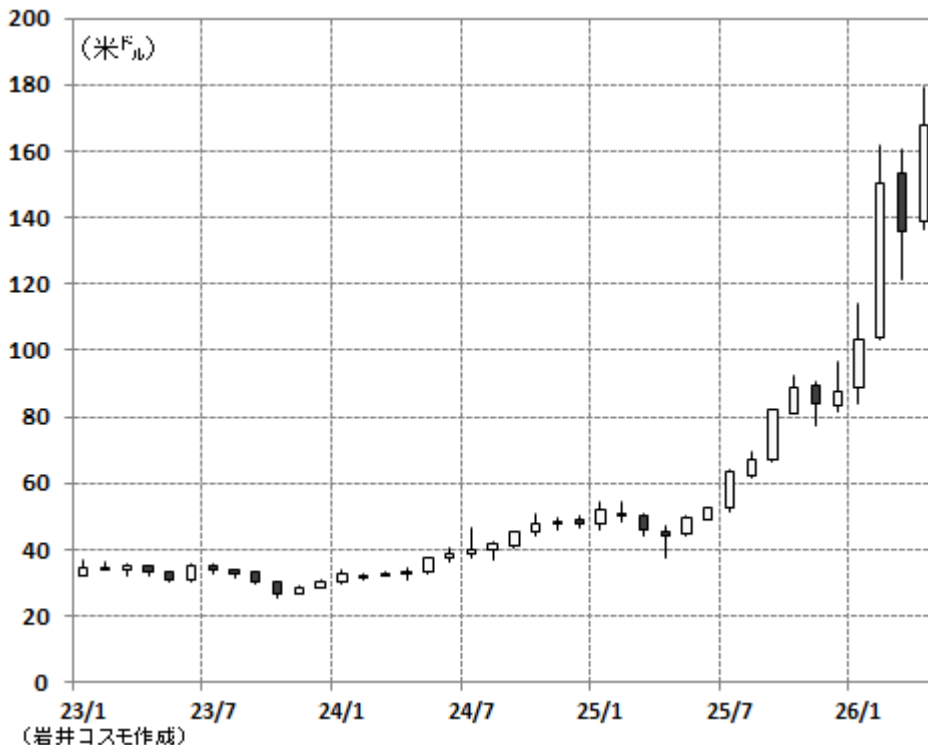
### 会社概要

1851年創立。特殊ガラスやセラミックスの世界最大手。エジソンの電球用ガラスに始まり、iPhoneの「ゴリラガラス」で知られる高い技術力を誇る。事業は光通信、ディスプレイ、環境、ライフサイエンス分野まで多岐に亘るが、現在はAIデータセンター需要に伴う光ファイバー関連が急成長。24年に開始した中期成長戦略「スプリングボード」の下、生成AIブームを背景に力強い回復を遂げながら、収益性向上を加速させている。

### 注目ポイント

□ **メタと最大60億ドルの大型契約**: 26年1月にメタと最大60億ドル規模の複数年の供給契約を締結。メタのAIデータセンター向けに最新の光ファイバー、ケーブル、接続ソリューションを独占供給する。これに伴ってノースカロライナ州の製造拠点を大幅拡張、メタを主要顧客として米国本土でのサプライチェーンが充実・強化する。

□ **成長目標を引き上げ**: 強固な受注を背景に同社は26年末までの年間売上成長目標を従来の60億ドルから65億ドルへ上方修正。25年8月発表のアップルとの25億ドル規模の提携に続き、メガテック企業との深耕が続く。AI需要を追い風に25年度の光通信部門は、前年比3割超の増収が実現、営業利益率も19%台へ拡大した。



株価チャート (2023年以降・月足)

### 株価データ

株価 (米ドル)	168.01 ( 04/27 )
52週高値 (日付)	179 ( 26/04/24 )
52週安値 (日付)	42.5 ( 25/04/29 )
時価総額	1,443億ドル 23兆0,080億円
株価変化率 (%)	94.4 (過去6ヶ月間) 281.0 (過去1年間)

### 株価指標 (バリュエーション)

実績PER	88.7 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	11.5 (倍)
税前提当利回り (%)	0.67 (直近年率)
配当成長率 (%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	14.2 (%)
株式ベータ	1.10 (対S&P500)

### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	13,118	4	1,135	28	506	-13	0.58	1.12
2025/12	15,629	19	2,279	101	1,596	215	1.83	1.12

### 四半期業績

2024/Q4	3,501	—	393	—	310	—	0.36	0.28
2025/Q4	4,215	20	672	71	540	74	0.62	0.28

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

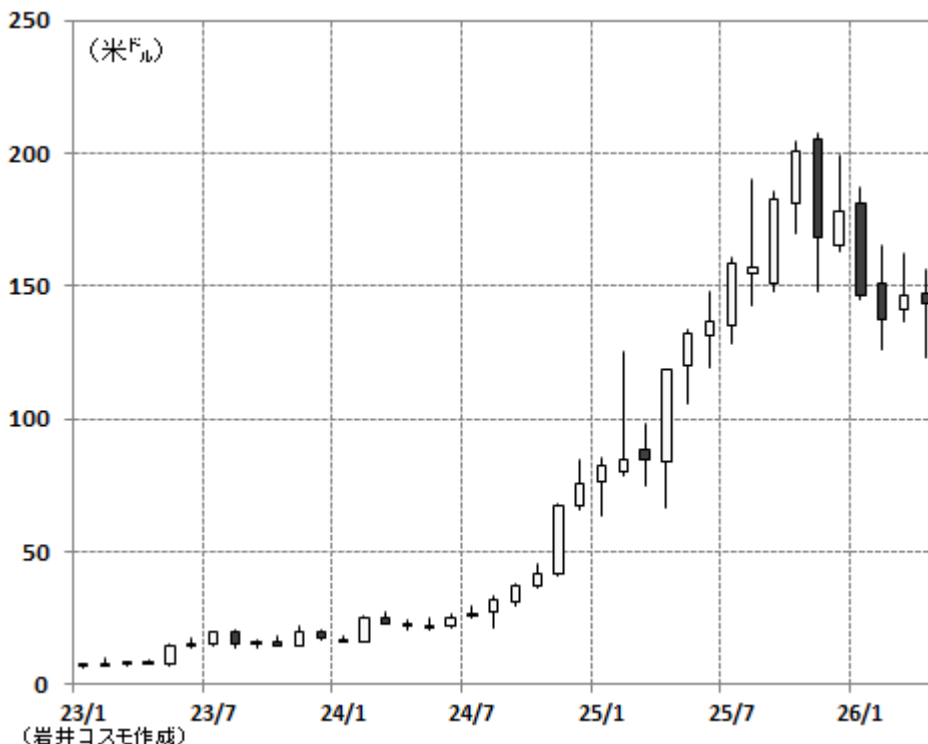
#### 会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にナスダックに鞍替え、翌12月にナスダック100指数に採用された。

#### 注目ポイント

□ **米民間部門が急成長**: 10-12月期売上高は前年同期比70%増の14.1億ドルと上場来最高の伸びを記録。特に米民間売上は137%増の5.1億ドルと驚異的な成長を遂げた。AIプラットフォーム「AIP」導入のための「ブートキャンプ」が新規顧客獲得に功を奏し、当該四半期で180件もの100万ドル超の大型案件が成約した。

□ **米国防総省がAIシステム正式採用**: 米国防総省は同社のAI指揮統制システム「メイブンスmartシステム」を公式プログラムとして正式採用する方針。戦場のデータを分析し標的を特定する同システムが軍全体に導入され、安定的・長期的な資金提供が可能となる。米政府部門における「AI実効力」の同社の優位性が改めて証明された格好。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	143.1 ( 04/27 )
52週高値(日付)	207.52 ( 25/11/03 )
52週安値(日付)	105.3201 ( 25/05/06 )
時価総額	3,430億ドル 54兆6,863億円
株価変化率(%)	-24.5 (過去6ヶ月間) 24.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	224.8 (倍)
株価売上高比率	75.8 (倍)
PBR	45.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	26.2 (%)
株式ベータ	1.72 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,866	29	310	2.6倍	462	2.2倍	0.19	0.00
2025/12	4,475	56	1,414	4.6倍	1,625	3.5倍	0.63	0.00
四半期業績								
2024/Q4	828	—	11	—	79	—	0.03	0.00
2025/Q4	1,407	70	575	52倍	609	7.7倍	0.24	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専門企業

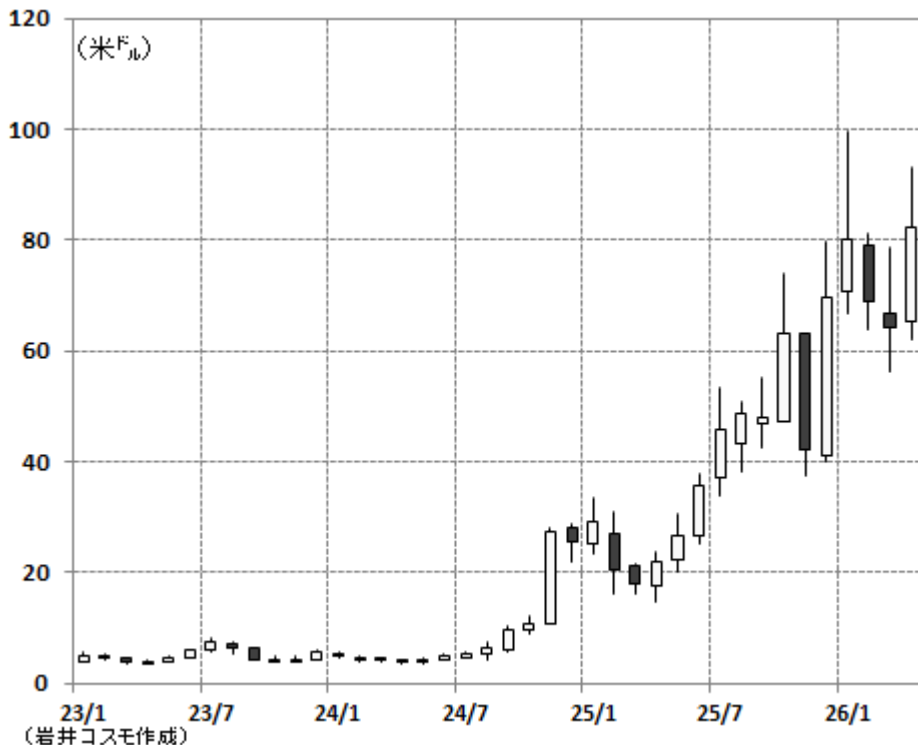
### 会社概要

スペースXの有力対抗馬と目される、ロケットの打ち上げから衛星製造、宇宙空間での運用までを一貫して手がける宇宙専門メーカー。主力である小型ロケット「エレクトロン」は米国で高い打ち上げ頻度を誇る一方、軍事用衛星・機材を手掛けるジオスト社やレーザー通信端末製造の独マイナリック社を25年に買収発表した。人工知能やレーザー通信等の衛星コンポーネントを内製する垂直統合型ビジネスモデルが特徴。

### 注目ポイント

□ **受注急増・基盤強固に**：10-12月期売上は1.80億ドルと市場予想を上振れて着地。1-3月期売上見通しは1.85億~2億ドルと市場予想(1.845億ドル)を上回った。年末時点の受注残高は前年比約73%増の過去最高となる18.5億ドルに達し、収益基盤が一段と強固になった。また製造能力増強のため、プレジジョン・コンポーネンツを買収した。

□ **次世代機開発の遅れ**：主力の小型ロケット「エレクトロン」は25年に21回の打ち上げに成功。一方、再利用型中型ロケット「ニュートロン」(積載量1.3万キロ・将来的な有人飛行も視野)は、試験中の推進剤タンク破裂により初打ち上げ時期を26年10-12月期へと延期したが、スペースXに対抗し得る有力な宇宙開発企業として市場からの期待は高い。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	82.29 ( 04/27 )
52週高値(日付)	99.58 ( 26/01/16 )
52週安値(日付)	20.235 ( 25/05/09 )
時価総額	519億ドル 8兆2,742億円
株価変化率(%)	29.1 (過去6ヶ月間) 263.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	72.8 (倍)
PBR	26.0 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-18.8 (%)
株式ベータ	1.94 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	436	78	-190	赤継	-190	赤継	-0.38	0.00
2025/12	602	38	-229	赤継	-198	赤継	-0.37	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q4	132	—	-52	—	-52	—	-0.10	0.00
2025/Q4	180	36	-51	赤継	-53	赤継	-0.09	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### AIインフラ投資の最大恩恵を受ける、データセンター空調・電気設備の元請け大手

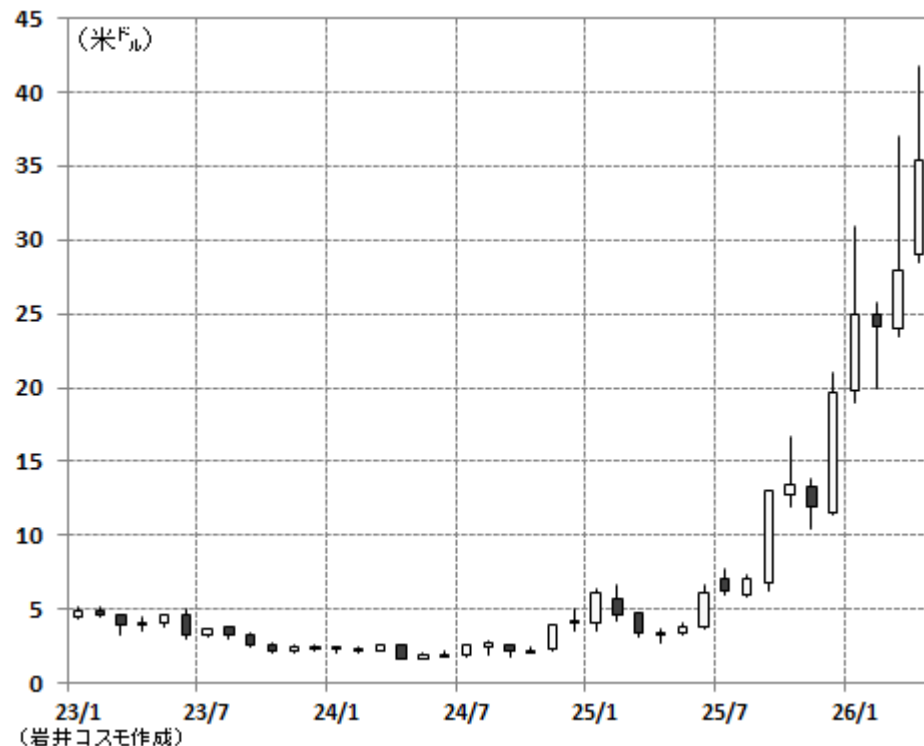
#### 会社概要

2010年に元NASAの科学者らが設立、21年12月に特別買収目的会社との合併を通じてNYSEに上場。多数の小型地球観測衛星を運用し、地球全土を毎日撮影・データ化する宇宙テック企業。業界最多となる稼働衛星群を持ち、日次画像データベースを構築。政府機関や民間企業向けに農業、気象、防衛等幅広い分野の画像やAI分析サービスをサブスクリプション方式で提供している。

#### 注目ポイント

□ **国防・情報部門が急成長**: 26年1月期決算では、売上高の6割を占めた米国防総省等を中心とする「防衛・情報」部門が前年比50%超の驚異的な高成長を記録。単なる画像提供から、AIを用いた解析サービスなど付加価値の高い事業へとシフトを進めており、政府機関からの大型・長期契約が利益率の向上に直結している。

□ **スペースX上場で関連銘柄**: 衛星打ち上げはマスク氏率いるスペースXを使用、比較的 low コストで事業基盤を築いてきた。市場で囁かれる26年半ばのスペースXの上場する期待が高まることで宇宙セクター全体に資金が向かう見通し。次世代の自社衛星の安定稼働と、農業・マッピングなど商業向けの成長が収益改善のカギとなりそう。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	35.45 ( 04/27 )
52週高値(日付)	41.71 ( 26/04/22 )
52週安値(日付)	3.17 ( 25/04/30 )
時価総額	123億ドル 1兆9,562億円
株価変化率(%)	176.1 (過去6ヶ月間) 939.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	35.5 (倍)
PBR	63.1 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-78.4 (%)
株式ベータ	1.79 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	244	11	-116	赤継	-123	赤継	-0.42	0.00
2026/01	308	26	-95	赤継	-247	赤継	-0.80	0.00

#### 四半期業績

2025/Q4	62	—	-19	—	-35	—	-0.12	0.000
2026/Q4	87	41	-36	赤継	-152	赤継	-0.48	0.000

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## ■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

## ■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265% (税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
  - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)が7.5万円以下の場合は11.0%(税込)、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円(税込)、50万円超の場合は最大で(約定代金の1.00%+2,500円)×1.1(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
  - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
  - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
    - 販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
    - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
    - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
    - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

## ■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
  - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。